



全菌類のデータベース

「大菌輪」LOD (識別形質)



中島淳志

Atsushi Nakajima



菌類は極めて多様性の高い生物です



発表される新種の数…年間

1500～3000種！

(1日におよそ5～9種くらい)

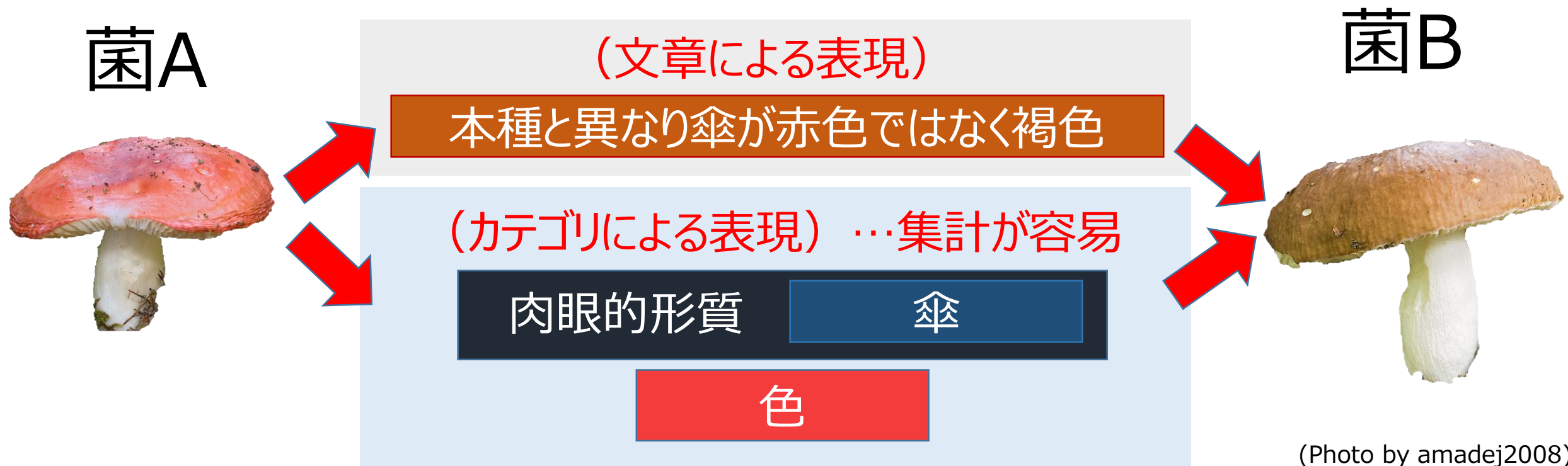


→全てを網羅した図鑑は存在しない

→全てを把握している専門家も… (たぶん)



識別形質LODの内容はごくシンプルです

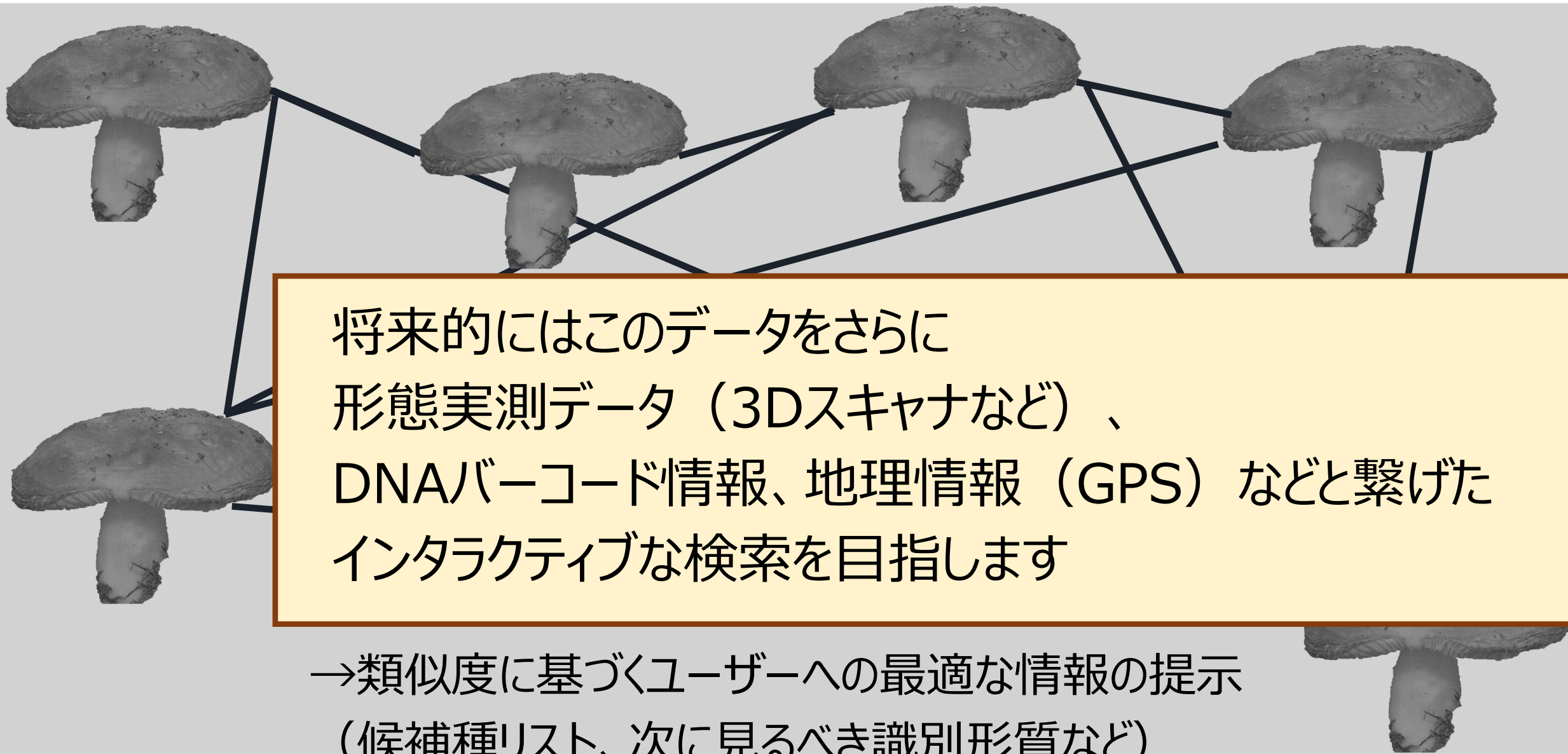


…こんなデータが約46,000件収録されています (2015年1月時点)

全て学術論文由来のファクトデータ (もちろん元論文の書誌情報、リンクも収録)

毎日3本の論文のフルテキスト・スクリーニングを行い情報を追加しています

データがネットワークのように繋がります





識別形質LODは情報へのアクセス性を高めます

【従来の情報伝達手段】

図鑑

ニュース

専門書

雑誌

ソーシャル
メディア

- ・時間がかかる（図鑑の場合
数年～数十年??）
- ・情報量の減少
- ・表現手法の不統一

新種発見・論文発表

将来的には機械学習の導入

識別形質LODへの収録

将来的には自ら学習して
成長するデータベースを目指す
（人間はチェックのみ）

情報が利用可能

識別形質LODは、
菌類にかかわる学術、産業、文化、芸術、趣味など、
全てを支える基礎となる部分に貢献します